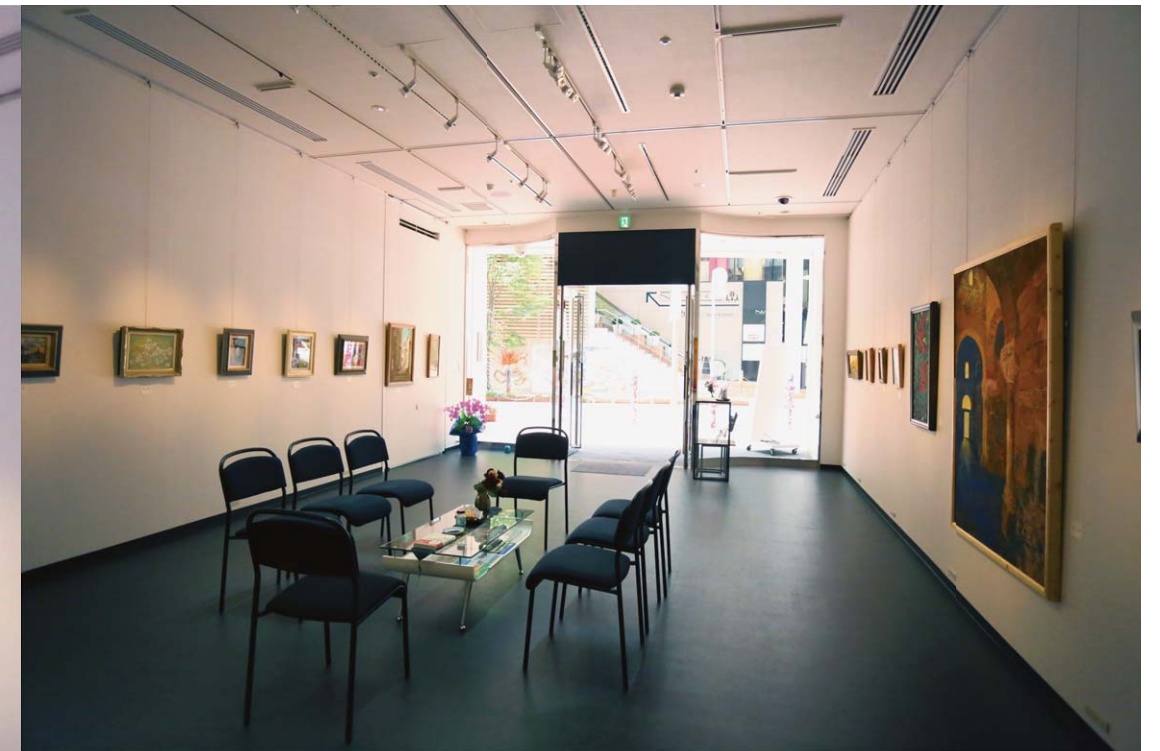


片岡繁美 日本画展

会期

2014年5月15日(木)～5月20日(火)
11:00～19:00(最終日16:00まで)



今回の展覧会は片岡繁美さんによる日本画の展覧会です。片岡さんの作品は、岩絵の具というを使って描かれています。岩絵の具とは、なにないで、なになににいいなになにのため、絵の表面は独自の表情があり、絵の具の粒子が光に反射してキラキラと光ります。一般的に日本画と言うと、水彩画のように薄い色彩の作品を思い浮かべますが、片岡さんの作品はしっかりと色を塗り重ねられているので、色に深みがあり、ボリュームがあります。そのため洋画のような雰囲気も併せ持った作品となっています。

絵のモチーフとなっているのは、スペインやフランス、イタリアなどの海外の建物や風景をメインに描かれていて、西洋の風景と日本画の描きかたが見事にマッチしています。そして今回は草花や動物を描いた小品も加わりました。建物を描いた作品には黄色い色で描かれたものが多く明るい黄色から、茶色に近い黄色まで、様々な黄色が使われ描かれています。特に会場に入って正面に飾られた対策は、様々な黄色が使われていて、とても温かみと深みがある作品です。

顔料を膠と水で溶いて描く日本画は、水彩画のような水を溜めて描くようなことも出来るため、様々な表情を見ることが出来ます。技法や描き方、画材など、固定概念にとらわれない独自の描き方が見られる、とても興味深い展覧会でした。

